

鳥取 YEG 通信

TOTTORI YOUNG ENTREPRENEURS GROUP



発行：令和元年9月15日
鳥取商工会議所青年部
総務広報委員会

9

鳥取商工会議所青年部通信 September 2019

2019年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 石畑 美幸
株式会社 富士ユニコン

8月に入ってからは大変暑い日が続きましたが、さまざまな事業に協力・参加いたしました。
数年来有志でボランティア協力をしております「小鳥の家族×鳥取砂丘」(鳥取砂丘新発見伝事業)のテント設営・撤去作業や、袋川河川敷の2度目の除草作業(袋川をはくむ会事業)に多くのメンバーが参加しました。鳥取のまちを良くしようと努められている他団体の皆様との作業は、暑さを吹き飛ばす達成感を感じる事ができました。猛暑の中参加されたメンバーの皆さま、ありがとうございました。

また、お盆前の2日間、未来創造委員会企画による大学生たちとの交流会に参加し、仕事、鳥取で暮らすこと、大人としての在り方など多岐に渡って語らうことができました。学生たちの赤裸々な思いに直面し、鳥取で今を生きる大人として、恥ずかしくない背中を見せていきたいと感じました。
8月14日には第55回鳥取しゃんしやん祭に参加しました。祭りは地域だけではなく、我々の心を豊かにします。踊り子だけでなく、スタップとして参加してくれたメンバー、ともに踊ってくれたご家族の皆様と笑顔で踊り切れたことに感謝申し上げます。

いただきました江津の皆さま、本当にありがとうございました。例会では鳥取市企画推進部文化交流課 長福山博俊様には「日本遺産とは」、鳥取県地域づくり推進部文化財局文化財課 主事 原島知子様には「麒麟獅子舞とは」をテーマにご講演いただきました。その後、因幡麒麟獅子舞の会の皆様に舞を演じいただきました。間近で初めて拝見し、和楽器の生演奏に合わせた迫力のある動きに圧倒されました。本来は神事である舞を、伝承のために多くの方に観ていただくとうと努力されてきたその経緯とご苦労、文化を伝承する難しさと尊さをお聴きした上での舞に心を揺さぶられました。地域のために何が残せるのだろうか悩みながらも、努力を惜しまない方々の思いを私たちも汲み取って、ともに鳥取の未来のために協力していけたらと感じた例会となりました。

8月例会

日時 令和元年8月7日(水) 19:00~21:00
場所 鳥取商工会議所5F 会議室

8月例会は鳥取魅力発見委員会の担当で、「コミュニティのまち鳥取を目指し、地域の魅力を内外に発信するをコンセプトとし、日本遺産と麒麟獅子舞についての講師例会を行いました。」

まず、鳥取市企画推進部文化交流課 長福山博俊様による日本遺産についての講演では、「日本海の風が生んだ絶景と秘境 幸せを呼ぶ 霊獣・麒麟が舞う大地、因幡・但馬」と題し、鳥取県東部地域を中心に世代を超え受け継がれている麒麟獅子舞の日本遺産認定の背景や、「麒麟のまち」としての今後の展開を伺うことができました。次に、鳥取県地域づくり推進部文化財局文化財課 主事 原島知子様による麒麟獅子舞についての講演では麒麟獅子舞の始まりから現在に至るまでの歴史、基本的な事柄、それぞれの神社での違い等を詳しく説明いただき、麒麟獅子舞が鳥取県東部地域を象徴し、人々を結びつけるとても大事な文化であることを改めて知ることができました。

最後に、「因幡麒麟獅子舞の会」の皆さまによる麒麟獅子舞を披露していただきました。見事な舞に会場が魅了され、この日本遺産認定を活かした地域活性化を進めるうえで、YEGが若手経済団体として何ができるかについて考えるきっかけとなりました。



原島講師

鳥取魅力発見委員会
委員長 網尾 和亮

新入会員



岸本 夕子 君
(きしもと ゆうこ)
事業所名 旬くるまや
所属委員会 総務広報委員会



麒麟獅子舞

鳥取しゃん祭に参加

日時：令和元年8月14日(水) 16:00~18:15

8月14日(水)鳥取の夏の風物詩である第55回鳥取しゃん祭が開催されました。今年も「鳥取YEG連」として32名の踊り子、7名のスタッフ総勢39人で第一部の「喜」クラスに参加しました。内9名はメンバーの子どもたちが参加してくれました。

直前に大型台風接近のニュースがあり天候を不安視しておりましたが、当日は最後まで雨や強風もなく無事に踊り終えることが出来ました。むしろ程よい風と雲が暑さを感じさせず、終始踊り子をサポートしてくれていたように思います。鳥取YEG連は最後尾という事も有り、開始前に隊列を組む段階で後ろを振り返ると人も少なく盛り上がるの心配でしたが、いざ踊りが始まってみると踊り子メンバーの大きな声と練習してきた踊りの成果が発揮でき、周囲を大いに盛り上げることができました。また参加してくれた子どもたちも素敵な笑顔と踊りで見ている方々にも楽しさを伝えられていたと思います。

沿道では多数のOBの方、家族連れのメンバーの方が声援をくださり鳥取YEGとしての一体感を感じる事ができました。終了後には頑張った子どもたちへ用意したメダルをプレゼントし労をねぎらいました。

今年鳥取商工会議所青年部の法被をはおり、基本踊りで参加しました。令和元年という新しい時代に初心に帰る参加できたと思います。また来年も楽しく参加できればと思います。

鳥取力魅力発見委員会
副委員長 奥村道哉



参加したメンバー



踊りの様子

ボランティアスタッフ&若手経営者との交流会

未来創造委員会は、8月10日から12日にかけて湖山池青島で大学生のボランティア体験&YEG会員との交流会を開催しました。

今の大学生が鳥取に魅力を感じているのか、将来の働き場としての選択肢になっているのかなど、大学生の考えを知ることが目的です。しかし、いきなり話し合いだと上辺だけのコミュニケーションになりがちなので、県外からたくさん観光客が参加するグランピング事業のボランティアスタッフを体験し鳥取の魅力に触れ、その夜に焚き火を囲みリラックスした中でYEG会員と交流の場を持つことを企画しました。

鳥大・環境大から28人参加し、24時間以上行動を共にしました。大学生は、人生設計の意識の高い人、鳥取大好きな人、コミュニケーション上手な明るい人、控えめな性格で勇気を振り絞って参加した人などさまざまでしたが、ボランティアを通して、積極的に周囲とコミュニケーションをとり、協力し合うことで目に見えて成長していきました。

交流会では、学生たちは気後れすることなく自分の想いをYEGメンバーにぶつけてくれました。予想以上に鳥取が好きで鳥取で働くことを視野に入れている学生が多いことに驚きました。

翌朝、終わりのミーティングでは「勇気を出して参加してすぐ勉強になった」「大学や学部を超えて一つのことにチャレンジでき刺激になった」「鳥取がもつと好きになった」などポジティブな意見をたくさんいただきました。

他県出身者は大学で鳥取を選ばなければ、鳥取で働くという選択肢はなかなか出てこないと思います。そんな彼らが働きたいと思える魅力的な企業を少しでも増やすことが鳥取YEGの目指すべきことの一つではないかと思われました。

未来創造委員会
委員長 中井史生



焚き火を囲んだ交流会

新入・交代会員研修会

去る8月9日(金)、本年度及び昨年度に入会された方で、これまで開催された研修会に参加していない会員を対象に、令和元年度の新入会員研修会を開催しました。

鳥取YEGは本年度、会員が18人増え、総勢160人という大きな組織に成長しました。新しく加わったメンバーにYEGとはどういう団体なのか、全国組織である日本YEGとの関係や、鳥取YEGの活動内容、今後5年間のビジョン・スローガン、またYEG活動の魅力についてなど、平田監事、山本監事、常田監事の3人の講師からお話しいただきました。YEG活動の情報共有に欠かせないツールであるエンジェルタッチ(YEGのグループウェア)の使い方については、総務広報委員会安田副委員長から実演を交えながらの講習しました。

参加された皆さんがそれぞれ熱心に研修に取り組みられています。今後のYEG活動に役立てていただけたらと思います。

総務広報委員会
副委員長 山根 真



研修会の様子

告知

9月28日(土)
第20回鳥取三十二万石
お城まつりの時代行列で
鳥取YEG伝統の奴踊りを
披露します!

9月28日(土)と29日(日)の両日開催される『第20回鳥取三十二万石お城まつり』で鳥取商工会議所青年部は3年前に復活した奴踊りを担当します。9月28日(土)11:30~13:00頃に智頭街道、鳥取駅前、若桜街道の3ヶ所で披露いたします。多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

